

仙台市障害者相談員によります福祉学習を実施しました ～仙台市立大沢小学校編～

平成29年12月6日
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

平成29年11月30日(木)に行われました仙台市立大沢小学校3年生の総合的な学習の時間(福祉学習)に、仙台市障害者相談員等の障害当事者が講師として訪問しました。

「視覚障害に関する講話と体験」のテーマでは、仙台市障害者相談員の鳴原真一さんが講師を担当しました。生徒の皆さんに白杖体験をしていただきながら、指示語ではなく具体的な言葉での説明が必要なことなど、視覚障害当事者の視点でお話をしました。

また、「肢体障害に関する講話と体験」をテーマでは、仙台市障害者相談員の佐藤孝志さんと仙台ポリオの会の菊池まり子さんが講師を担当しました。佐藤孝志さんからは義足をつけている方の生活についてお話し、また、菊池まり子さんは「車いす鬼ごっこ」を通して、生徒さんに車いすの操作を体験していただきました。

生徒の皆さんは関心を持ちながら積極的に体験をしていただき、視覚障害者へのお手伝いをする際には声掛けが必要であることや、車いす使用者をはじめとした下肢障害者の困難なことについて理解を深めていました。

仙台市立大沢小学校さんは、毎年、3年生を対象に福祉学習を実施するとのことで、来年度以降も大沢小学校さんの福祉学習に貢献していきたいと考えています。



鳴原さんのアドバイスをもち、具体的な声掛けをしながら介助体験をしました。



生徒の皆さんは、初めて触れる短下肢装具に興味深い様子でした。